

阿賀野市古城跡年表

西暦	年号	事	柄（定説）
前七〇〇年 前三八〇年	縄文早期 縄文晩期	金太郎山より石刃・木倉山より石刃石器・出土 折居川流域に集落が形成はじまる。	
七二九年	天平元年 天平八年 天平十七年 延長三年	弘法大師出湯に優姚尊像を刻み海満寺に安置 行基－乙宝寺を開基した 行基－二石ヶ嶽に虚空蔵菩薩を安置奉祀 城の地に居住者がはじまる	
一一二四年 一一六七年 一一八一年 一一八四年 一一八五年 一一八六年	天治一年 仁安二年 治承五年 寿永三年 文治元年 文治二年	白河荘が立証され九条家の荘園になった。城氏が治めていた 城四郎長茂・・・・・・・・・・・・・・ 城資水・越後国主に任ぜられる・平清盛死去 横田川の戦 源義仲・征夷大將軍・大見家秀白河荘の地頭 平家滅亡 源頼朝・公文所内注所設置 大見家秀・白河荘の地頭	平清盛太政大臣 一谷の戦い・壇ノ浦の戦い
一一九二年	建久三年	源頼朝・鎌倉幕府を開く	源頼朝將軍
一二二九年 一二五八年 一二七二年 一二七四年 一二八七年	寛喜元年 正嘉三年 文永九年 文永十一年 弘安十年	大見行定・水原・舟江の条の地頭 大見家久・下条・館ノ越に館を築く 大見時実・安田の条の地頭 文永の役「元」の兵船博多に上陸 大見家政・山浦四ヶ条の地頭	北条泰時・執権 北条時宗・執権
一三〇四年 一三三三年 一三三八年 一三四五年 一三四九年 一三五二年 一三五八年	嘉元二年 元弘三年 暦応元年 貞和元年 正平四年 正平八年 正平十二年	大見家貞・山浦四ヶ条の地頭 鎌倉幕府滅亡 南北朝時代へ 足利善氏・・・北朝より征夷大將軍に任命 上杉龜顕・・・越後守護 大見家経・笹岡城築城 大見伊勢守盛家・足利善氏より水原郷を与えられ水原氏と称す 佐々木貞氏・山浦四ヶ条の地頭・駒林村の名が出る	越後は新田義貞が平定
一四二三年 一四三〇年 一四四四年 一四六六年 一四八〇年 一四九一年 一四九九年 一五四四年	応永十三年 永享二年 文安元年 文正元年 文明元年 延徳三年 明応八年 天文十三年	応永の大乱勃発・越後の大乱（五年間続く） 千坂高信・白河荘代官 下条氏の地領・下条・山口・駒林・里飯野を含む 千坂駿河守高春・鉢盛城築城3万5千石 城代・千坂実高 城代・千坂能高 長尾為景の家臣・下条駿河守貞尚・要害城築城 川中島の戦い	鉢盛城
一五五三年 一五五八年	天文二十二年 永禄元年	川中島の戦い・村上景清・笹岡城へ四満富寄付 長尾景虎・上杉鷹政の養子となり上杉家を名乗る 村上景清（山浦入道国清を名乗る）笹岡城城主 上杉謙信死去	
一五八三年	天正十一年	今井源右衛門久家・笹岡城代々城主	
一五九一年	天正十四年 天正十五年十一月 天正十九年	笹岡城在城衆・大室で水原勢（新発田側）と戦っている 上杉景勝笹岡城に入城して新発田重家を討ち果たす 文祿の役 山浦村上源五、参戦	
一五九八年	慶長三年	上杉景勝・会津へ国替え	